

<白梅学びのエリア教育目標> よりよい未来・主役は子ども

～ 「自立・貢献・共生・創造」、よりよい未来を切り拓く人を目指して ～



<本校の教育目標> かしく・やさしく・たくましく

令和7年度

金沢小だより

6月号

令和7年5月30日

板橋区立金沢小学校

校長 神保 幸次郎

## あいさつが与える・与えてくれる笑顔

校長 神保 幸次郎

5月の連休明け、5年生が校門に立ち、登校する児童へあいさつをしてくれました。

はじめのうちは照れくさいような様子がありましたが、日が進むにつれて、あいさつの声が大きくなり、揃っていき、終盤には素敵なお手本になっていました。「素敵なおいさつだったよ。」と伝えると、清々しい表情で「ありがとうございます。」と言って、子どもたちは教室へ向かっていきました。

私は、校門で登校する子どもたちを迎え、あいさつをしています。子どもからのあいさつの清々しさ、明るさ、丁寧さに元気が湧いてきます。自然と顔もほころび、声も弾みます。相手を笑顔にさせてくれる金沢小の子どもたちの素敵なおいさつは、学校のあいさつ指導だけではなく、ご家庭を基盤に、地域の人々とも場に応じたあいさつがなされているからだと思いました。

しかし、近年では生活スタイルや居住環境の変化により、居住者同士や周辺地域との繋がりが希薄であるとの課題を聞きます。そのような折、先日、板橋第一小学校を会場に開催された仲宿地区祭りは、金沢小学校 PTA、おやじの会、金沢くらぶで模擬店を出店し、金沢小学校の子どもも多く来場し、子どもも大人も明るいあいさつ・笑顔であふれていました。地域でのお祭りやイベントでは人と会う度にあいさつが生まれ、自然と笑顔と交流が増える良い機会です。

6月1日(日)に板橋第二小学校で「あそびのひろば」(主催 青少年健全育成板橋地区委員会)があり、子ども向けの様々な遊びが用意されています。子どもの活動としても、あいさつ・交流の場としても参加を勧めます。

金沢小学校の子どもたちが、大人になっても、様々な場面で、場に応じた素敵なおいさつができるよう、地域でも実践してほしいと願っています。



## 6月は「ふれあい月間」

「ふれあい月間」は、いじめや不登校、暴力などの問題行動を未然に防止し、子どもたちの健全育成をめざす取組で、6月、11月、2月に設定しています。先の5月学校公開では全学年で「いじめ防止授業」を公開しました。実施後の保護者からの関連した感想を紹介します。(要旨が変わらない程度に語を削除しています。)

- ・子どもたちの友だちを思いやる気持ちが伝わりました。
- ・道徳の授業では、子どもの意見を丁寧に聞き、他の子どもにその意見の感想をさらに尋ねることで、他者の意見を聴けるようにしていました。「達成感から自分の良さを認め、それにより前向きになれる」という授業に、私たち親側も意識しないといけないなと学ばせていただきました。
- ・「いじめといじりの違い」や「いじめをなくすには」等に興味深い子どもの意見が多くあり、大変勉強になりました。先生も子どもたちの意見に対してしっかり反応してくださり、発表した子も満足そうでした。
- ・子どもたちの考え方を知ることのできる楽しい授業でした。「どんな人になりたいか？」という質問に(我が子が)「優しい人になりたい」と選んであるのを見て、涙が出ました。親も知らないことが多いんだなと改めて考えさせられました。

※このほかに課題についても頂戴しました。改善に生かしてまいります。

